

2025年3月期

Fly to the next stage!

決算説明資料

ヤマシンフィルタ株式会社 2025年5月23日



## エグゼクティブサマリー

#### ハイライト



- ◆ 2025年3月期は、創業以来過去最高の連結業績を達成
- ◆ 2026年3月期見通しは、不透明な外部環境が続く中、中期経営計画の目標水準は確実 に達成できる見通し







## 2026年3月期見通し 米国関税政策に対する影響と対応



◆ 当社グループへの関税影響額は軽微であるため、2026年3月期の業績見通しには織り 込まず

#### 建機用フィルタビジネスの影響額の試算

#### 前提条件

2025年4月3日時点 における米国政府公 表の関税政策の税率 を適用



※90日間の猶予期間は考慮せず

	相互関税							
全製品対象								
	対象地域							
	<b>对象地域</b>							
日本製 <b>24</b> %	フィリピン製 <b>17</b> %	ベトナム製 46%						
	***	*						

対象地域 (輸入)	対象地域 (輸出)	影響度	想定影響金額 (年間)	対応策
販売拠点	製造拠点			
米国	フィリピン ベトナム 日本	<b>/</b> ]\	最大約4億円程度 のコスト増加	主要得意先への販売価格の適正化原価低減等で対応可能



## 2025年3月期の振返りと2026年3月期の見通し



#### 「仕濾過事」を具現化し、新たなステージへ

#### 建機用フィルタ

- ●多様なアプローチによるシェア拡大
- 高付加価値製品の導入
- アフターマーケット活動の進化

企業価値を向上させる MAVY's経営の実践

#### 財務情報 KPI (2028/3期)

- MAVY's (独自指標) 2%以上
- ROIC 10%以上
- WACC 7.3%



#### 株主還元 KPI (2028/3期)

- DOE 10%
- 配当性向80%

#### エアフィルタ

- ■既存商流の強化
- ■直販体制の強化
- ■ろ材の拡販

## サステナブルな社会の実現 を目指したESG経営

#### 非財務情報 KPI (2028/3期)

#### ESG 投資指数

- FTSEスコア4.0以上
- CDP気候変動 スコアA取得

#### KPI進捗



- ◆ 中期経営計画目標に対し、2025年3月期実績は着実に進展
- ◆ 非財務情報においては、中期経営計画目標のCDPスコア目標を前倒しで達成

財務情報						
	2025/3期 (実績)	増減				
MAVY's	0.1%	+2.7pts				
ROIC	8.2%	+3.3pts				
WACC	8.1%	+0.6pts				

	株主還元	
	2025/3期 (実績)	増減
連結 配当性向	49.3%	- <b>5.1</b> pts
DOE	3.9%	+1.9pts



#### 重要経営指標であるMAVYとMAVY's



MAVY

企業価値向上に向けた定量目標として財務情報、 非財務情報、株主還元情報を区分しKPIとして設定

財務

非財務

株主還元情報

稼ぐ力
ROIC

A Spanie 

MAVY's

MAVY's

# 投下した資本に対する 収益率

ROICが高いほど 効率的に資本を活用し収益を生み出している

## コストを上回る価値

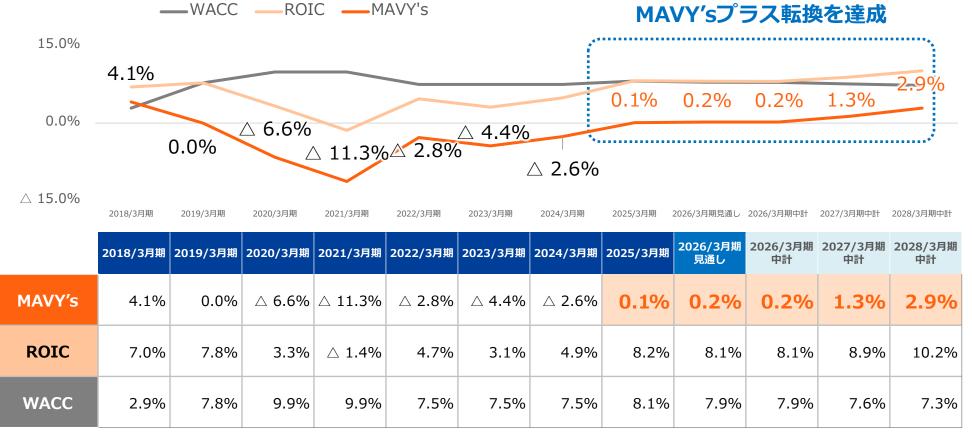
を生み出しているか

+の値であれば、 資本調達コストを上回る価値を生み出している

#### KPI進捗 -財務情報



- ◆ 2025年3月期には7年ぶりにMAVY'sプラス転換を達成
- ◆ 2026年3月期においても、中期経営計画の目標達成見通し



※2018/3月期のMAVY's 及びWACCについては参考値を記載しております。

## 2025年3月期第4四半期実績(2025/1-3) PLセグメント別(連結、建機、エア)



◆ 主力である建機用フィルタビジネスの貢献により大幅な増収増益

		2024/3期 Q4 実績	2025/3期 Q4 実績	前年同期比		
		金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率	
売上高		4,716	5,158	442	9.4%	
建機用	フィルタ※	4,057	4,456	399	9.8%	
エアフ	ィルタ	659	702	42	6.5%	
営業利益(セグメント利	J益)	472	579	106	22.6%	
建機用	フィルタ※	453	553	99	21.9%	
エアフ	ィルタ	18	26	7	39.6%	
営業利益率		10.0%	11.2%	1.2Pt		
経常利益		474	571	97	20.5%	
経常利益率		10.1%	11.1%	1.0Pt		
四半期純利益		148	493	344	232.1%	
四半期純利益率		3.2%	9.6%	6.4Pt		
為替レート(円)	USD	144.6	152.6	8.0	5.5%	
(期中平均値)	EUR	156.8	163.8	6.9	4.4%	

<sup>※ 「</sup>建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

## 2025年3月期第4四半期実績(2025/1-3) 売上高(製品別)



◆ 建機メーカーが推進するアフターマーケット戦略と合致した当社製品への需要増により、補給品の売上高は大きく伸長

■製品別列	<b>売上高</b>	2024/3期 Q4 実績	2025/3期 Q4 実績	前年同期比	
		金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率
建機用フィル	B	3,708	4,127	418	11.3%
	ライン品	1,374	1,445	70	5.1%
	補給品	2,333	2,681	348	14.9%
産業用フィル	B	170	167	△3	△2.1%
プロセス用フ	イルタ	178	162	△16	△9.1%
建機用フィルタ 合計		4,057	4,456	399	9.8%
エアフィルタ		659	702	42	6.5%
	E上高合計	4,716	5,158	442	9.4%

### 2025年3月期第4四半期実績(2025/1-3) 売上高(地域別)



◆ 北米市場を中心に各地域におけるアフターマーケットは好調に推移

■ 地域別売上高		2024/3期 Q4 実績		2025/3期 Q4 実績		前年同期比	
		金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	増減額(百万円)	増減率
建機用フィル	/タ※	4,057	86.0%	4,456	86.4%	399	9.8%
	国内	1,741	36.9%	1,683	32.6%	△57	△3.3%
	北米	1,036	22.0%	1,272	24.7%	236	22.8%
	中国	297	6.3%	351	6.8%	53	18.1%
	アジア	521	11.1%	605	11.7%	84	16.2%
	欧州	458	9.7%	541	10.5%	83	18.2%
	その他(中東他)	2	0.1%	1	0.0%	0	△28.4%
エアフィルタ	"(国内)	659	14.0%	702	13.6%	42	6.5%
売	上高合計	4,716	100.0%	5,158	100.0%	442	9.4%

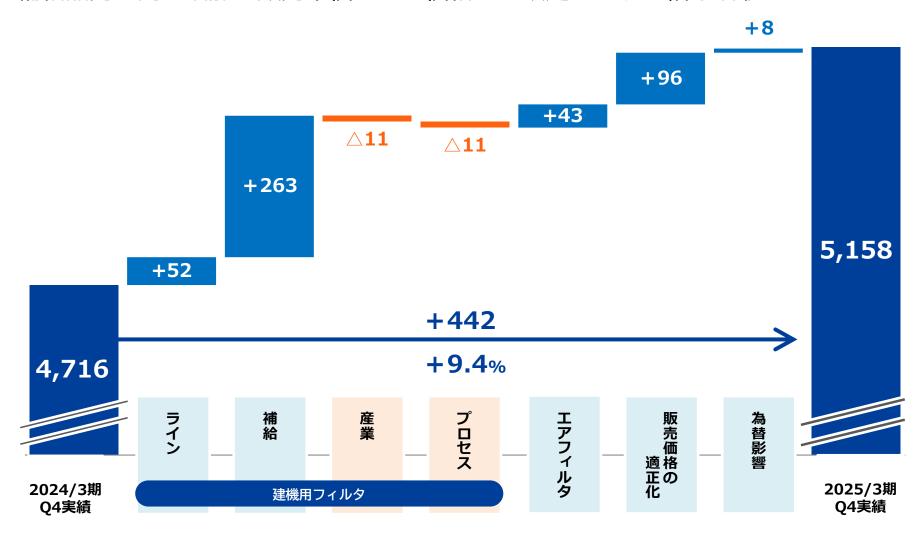
<sup>※ 「</sup>建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

<sup>\*</sup> 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

## 2025年3月期第4四半期実績(2025/1-3) 売上高増減グラフ(前年同期比)



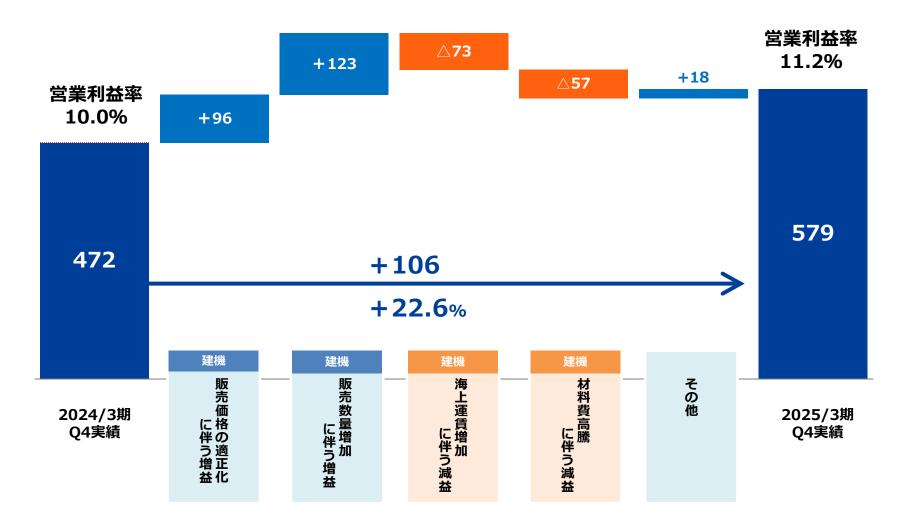
◆ 補給品売上高の増加、販売単価の適正価格への改定により大幅な増収



## 2025年3月期第4四半期実績(2025/1-3) 営業利益増減グラフ(前年同期比)



◆ 販売数量の増加により営業利益は増加し、外部環境の変化に伴うリスクへの対処とし て販売単価の適正化を実行し、営業利益率の改善を実現



## 2025年3月期実績(2024/4-2025/3) PLセグメント別(連結、建機、エア)



◆ 建機用フィルタビジネスの貢献により、連結業績は創業以来の過去最高益を達成

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	前期比		
		金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率	
売上高		18,024	20,104	2,079	11.5%	
建機	用フィルタ*	15,382	17,489	2,106	13.7%	
エア	フィルタ	2,642	2,615	△26	△1.0%	
営業利益(セグメン	ト利益)	1,411	2,630	1,218	86.4%	
建機	用フィルタ*	1,320	2,554	1,234	93.5%	
エア	フィルタ	91	75	△15	△17.3%	
営業利益率		7.8%	13.1%	5.3Pt		
経常利益		1,415	2,669	1,254	88.6%	
経常利益率		7.9%	13.3%	5.4Pt		
当期純利益		786	1,723	936	119.1%	
当期純利益率		4.4%	8.6%	4.2Pt		
為替レート(円)	USD	144.6	152.6	8.0	5.5%	
(期中平均値)	EUR	156.8	163.8	6.9	4.4%	

<sup>※ 「</sup>建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

## 2025年3月期実績(2024/4-2025/3) 売上高(製品別)



◆ 建機メーカーが推進するアフターマーケット戦略と合致した当社製品への需要増、販売単価の適正価格への改定により、補給品の売上高は大きく伸長

■製品別売上高		2024/3期 実績			前年同期比		
		金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減率		
建機用フィルタ		14,008	16,080	2,072	14.8%		
	ライン品	5,731	5,599	△132	△2.3%		
	補給品	8,276	10,481	2,205	26.6%		
産業用フィル	レタ	648	708	60	9.3%		
プロセス用フ	フィルタ	725	699	△25	△3.6%		
建機用	フィルタ 合計	15,382	17,489	2,106	13.7%		
エアフィルタ		2,642	2,615	△26	△1.0%		
壳	上高合計	18,024	20,104	2,079	11.5%		

### 2025年3月期実績(2024/4-2025/3) 売上高(地域別)



◆ 北米、東南アジア市場を中心に各地域におけるアフターマーケットは堅調に推移

■ 地域別売上高		2024/3期 実績		2025/3期 実績		前年同期比	
		金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	増減額(百万円)	増減率
建機用フィル	/タ*	15,382	85.3%	17,489	87.0%	2,106	13.7%
	国内	6,990	38.8%	6,900	34.3%	△89	△1.3%
	北米	3,249	18.0%	4,590	22.8%	1,341	41.3%
	中国	1,218	6.8%	1,246	6.2%	28	2.3%
	アジア	2,051	11.4%	2,670	13.3%	619	30.2%
	欧州	1,869	10.4%	2,073	10.3%	204	10.9%
	その他(中東他)	3	0.0%	7	0.0%	3	95.4%
エアフィルタ	'(国内)	2,642	14.7%	2,615	13.0%	△26	△1.0%
売	上高合計	18,024	100.0%	20,104	100.0%	2,079	11.5%

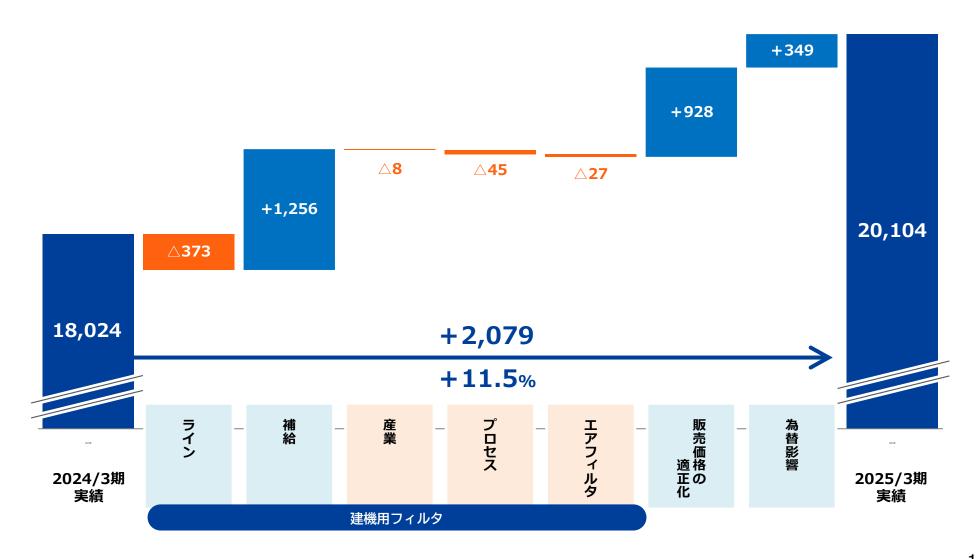
<sup>※ 「</sup>建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

<sup>\*</sup> 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

## 2025年3月期実績(2024/4-2025/3) 売上高増減グラフ(前期比)



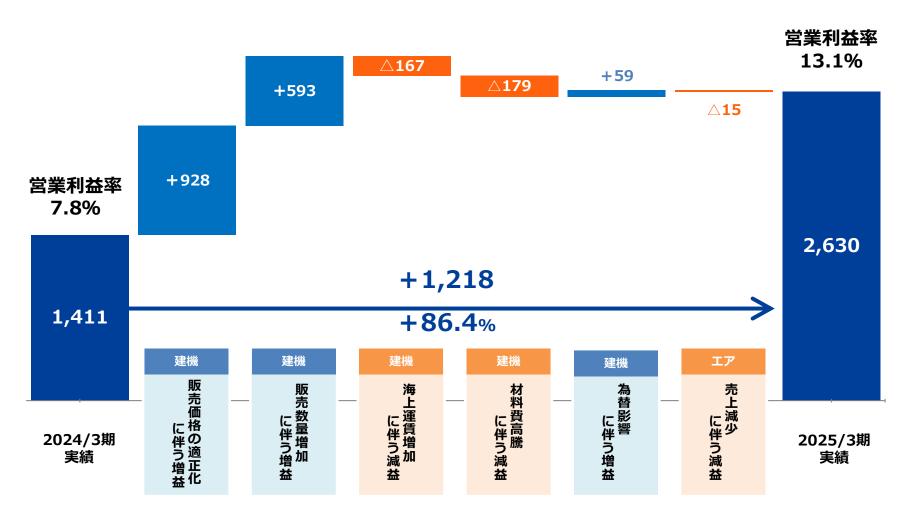
◆ 補給品売上高の増加、販売単価の適正価格への改定により大幅な増収



## 2025年3月期実績(2024/4-2025/3) 営業利益増減グラフ(前期比)



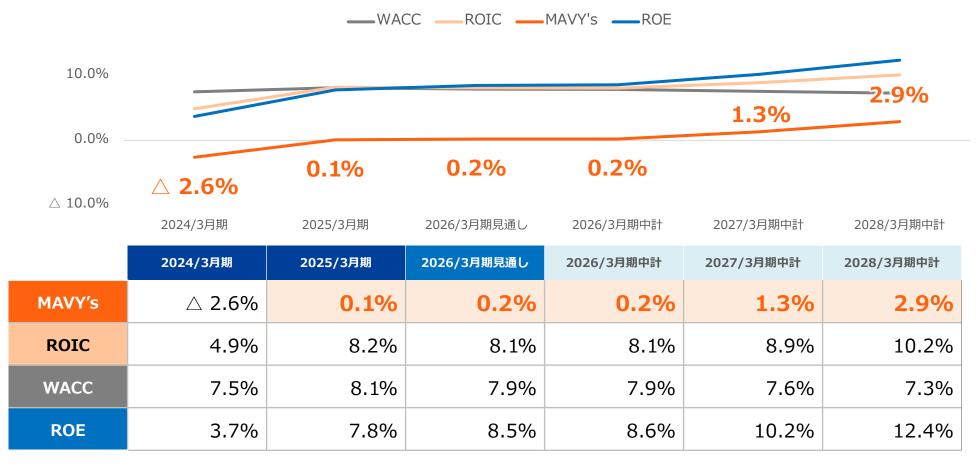
◆ 販売数量の増加により営業利益は増加し、外部環境の変化に伴うリスクへの対処とし て販売単価の適正化を実行し、営業利益率の改善を実現



#### 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) KPI進捗(MAVY's、ROIC、WACC、 ROE )



- ◆ 企業価値を示すMAVY'sの改善は中期経営計画通り着実に進展
- ◆ 2025年3月期には7年ぶりにMAVY'sプラス転換を達成
- ◆ 2026年3月期においても、中期経営計画で掲げた目標値は達成見通し



## 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) PLセグメント別(連結、建機、エア)



◆ 外部環境は不透明だが、中期経営計画で掲げた利益水準は達成見通し

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	<b>2026/3期</b> 見通し	前期比
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	増減額(百万円)
売上高		18,024	20,104	20,420	315
建機用	フィルタ*	15,382	17,489	17,770	280
エアス	ィルタ	2,642	2,615	2,650	34
営業利益(セグメント利	益)	1,411	2,630	2,720	89
建機用	フィルタ*	1,320	2,554	2,645	90
エアフ	ィルタ	91	75	75	0
営業利益率		7.8%	13.1%	13.3%	0.2Pt
経常利益		1,415	2,669	2,750	80
経常利益率		7.9%	13.3%	13.5%	0.2Pt
当期純利益		786	1,723	1,910	186
当期純利益率		4.4%	8.6%	9.4%	0.8Pt
為替レート(円)	USD	144.6	152.6	145.0	△5.0%
(期中平均値)	EUR	156.8	163.8	165.0	0.8%

<sup>※ 「</sup>建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

## 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) 売上高(製品別)



- ◆ 高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品は増収見通し
- ◆ 補給品売上高は堅調維持

■製品別売上高		2024/3期 実績		2025/3期 実績		2026/3期 見通し		前期比	
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィ	ルタ	14,008	77.7%	16,080	80.0%	16,386	80.2%	305	1.9%
	ライン品	5,731	31.8%	5,599	27.9%	5,981	29.3%	382	6.8%
	補給品	8,276	45.9%	10,481	52.1%	10,405	51.0%	△76	△0.7%
産業用フィ	ルタ	648	3.6%	708	3.5%	672	3.3%	△36	△5.1%
プロセス用	フィルタ	725	4.0%	699	3.5%	711	3.5%	11	1.6%
建機戶	用フィルタ 合計	15,382	85.3%	17,489	87.0%	17,770	87.0%	280	1.6%
エアフィル・	g	2,642	14.7%	2,615	13.0%	2,650	13.0%	34	1.3%
	売上高合計	18,024	100.0%	20,104	100.0%	20,420	100.0%	315	1.6%

## 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) 売上高(地域別)



◆ 北米中心に新車需要は増加見通し、補給品市場は堅調に推移

■地域別売上高		2024/3期 実績		2025/3期 実績		2026/3期 見通し		前期比	
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*		15,382	85.3%	17,489	87.0%	17,770	87.0%	280	1.6%
	国内	6,990	38.8%	6,900	34.3%	6,816	33.4%	△84	△1.2%
	北米	3,249	18.0%	4,590	22.8%	4,856	23.8%	266	5.8%
	中国	1,218	6.8%	1,246	6.2%	1,354	6.6%	107	8.6%
	アジア	2,051	11.4%	2,670	13.3%	2,698	13.2%	27	1.0%
	欧州	1,869	10.4%	2,073	10.3%	1,891	9.3%	△182	△8.8%
	その他(中東他)	3	0.0%	7	0.0%	152	0.7%	145	2,030.9%
エアフィルタ(国内)		2,642	14.7%	2,615	13.0%	2,650	13.0%	34	1.3%
売上高合計		18,024	100.0%	20,104	100.0%	20,420	100.0%	315	1.6%

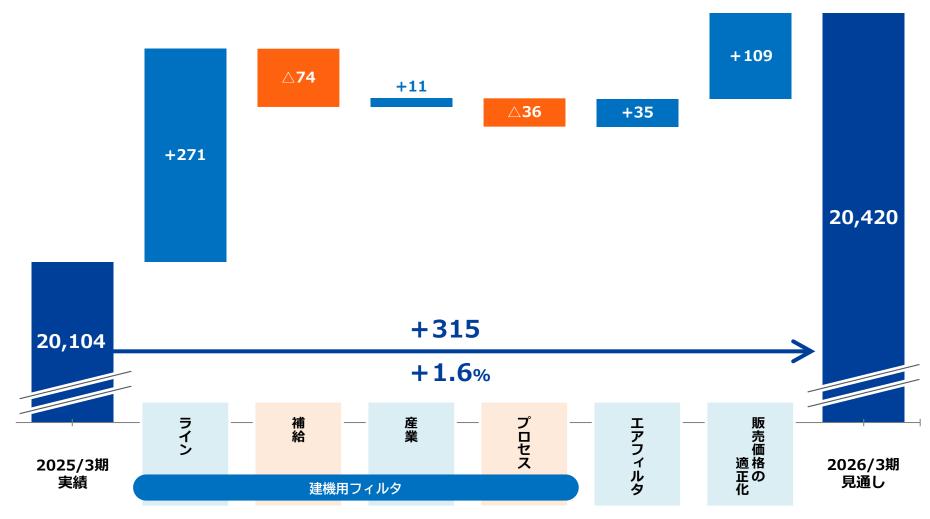
<sup>※ 「</sup>建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

<sup>\*</sup> 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

## 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) 売上高増減グラフ(前期比)



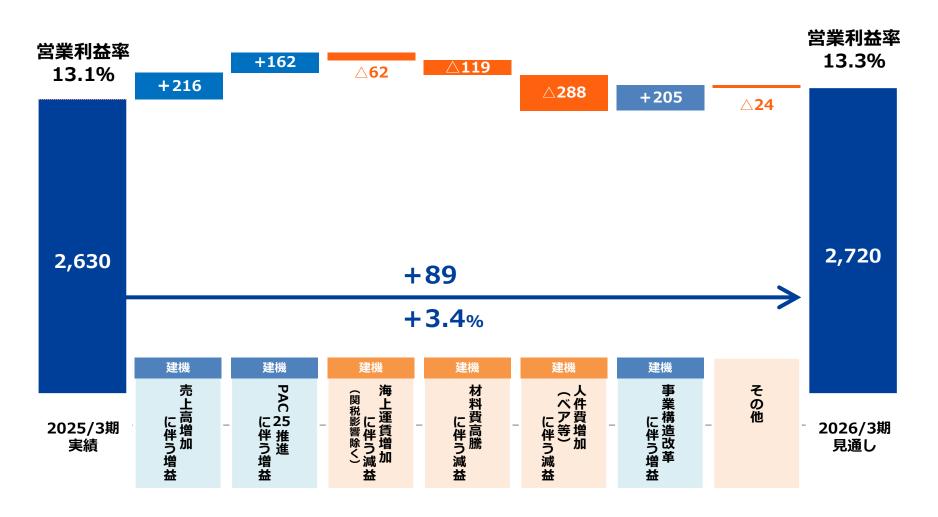
- ◆ 高付加価値製品の供給によるシェア拡大戦略により、ライン品は増収見通し
- ◆ 補給品売上は堅調維持



### 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) 営業利益増減グラフ(前期比)



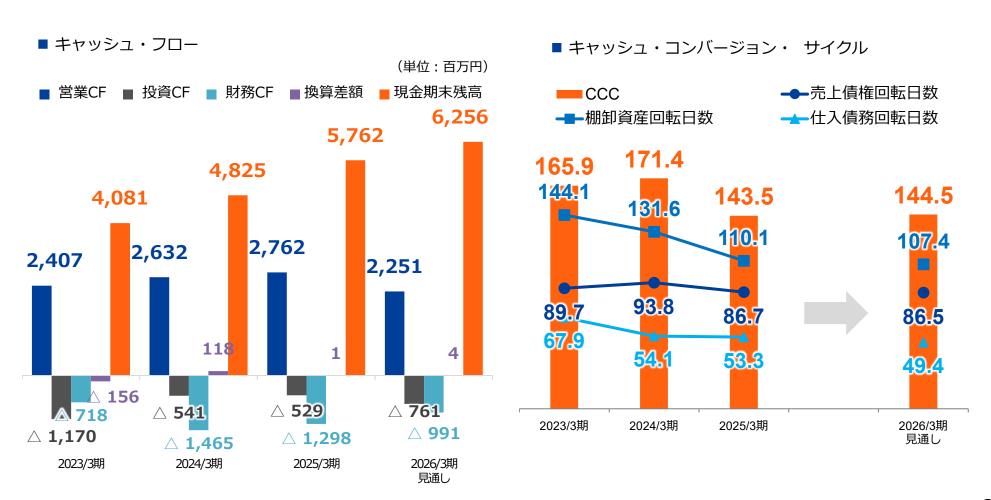
◆ 事業構造改革や原価低減の取り組みにより固定費の増加を抑制、中期経営計画で掲げ た利益水準は達成見通し



### キャッシュ・フローならびにCCCの推移



- ◆ 連結業績改善により潤沢なキャッシュフローを維持
- ◆ サプライチェーンの最適化、在庫水準管理の徹底により資金効率は大幅に改善



#### 資本政策進捗

#### (総資産、自己資本比率、財務レバレッジ、WACC)



◆ 資本政策の見直し、財務レバレッジ効果により自己資本比率低減とWACCの低減を図る

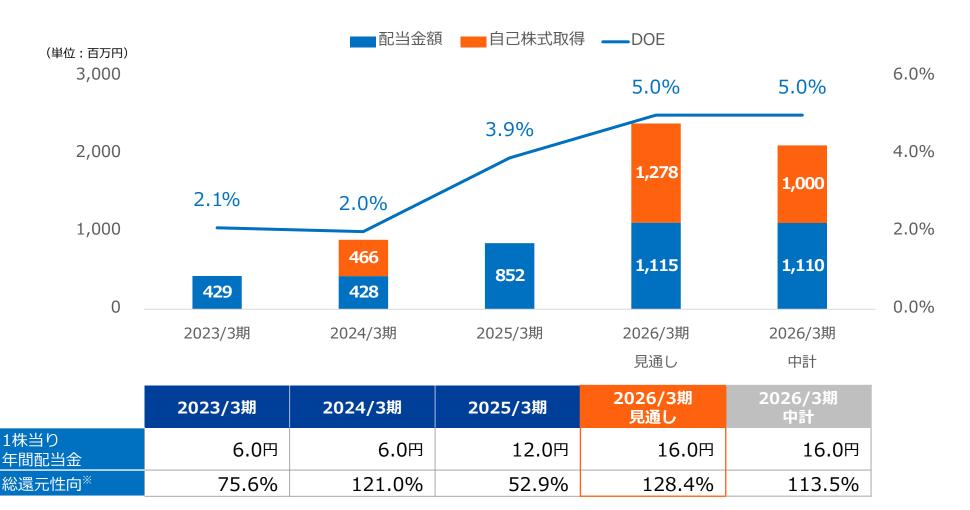


	2024/3期実績	2025/3期実績	2026/3期 見通し	2026/3期 中計
自己資本比率	82.1%	84.9%	81.3%	79.2%
財務レバレッジ	1.22	1.18	1.23	1.26
WACC	7.5%	8.1%	7.9%	7.9%

### 株主還元(配当金、DOE、配当性向、総還元性向)



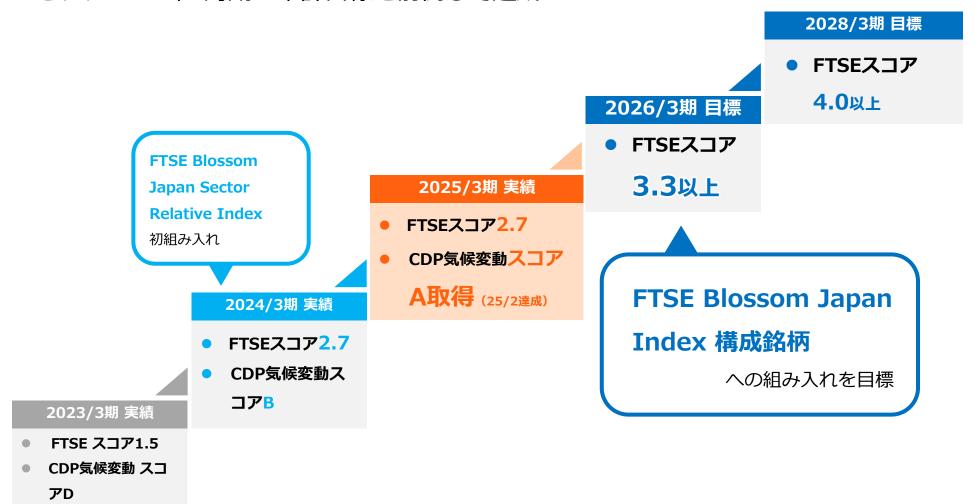
◆ 配当と自己株式の取得含めた資本政策の見直しにより高い株主還元を実現



<sup>※</sup> 総還元性向={(配当金総額+株主優待+自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益}×100



◆ 非財務情報KPIのCDPスコアはCDP気候変動2024において「Aリスト企業」に初認定され、2028年3月期の中計目標を前倒しで達成





## 中期経営計画の進捗と今後の戦略

#### 中期経営計画1年目の進捗状況



- ◆ 建機用フィルタ事業は補給品増収、価格改定効果等により大幅増益
- ◆ エアフィルタ事業は、新規取り組み進展も既存事業で減収減益
- ◆ 新規事業の新素材開発は計画通り、順調に進行中

中計数値計画に織り込んでいない領域

#### 建機用フィルタ

■ 売上高 174億89百万円

(達成率105.9%)

- セグメント利益 25億54百万円 (達成率121.6%)
- MAVY's (独自指標) 2.0%

#### エアフィルタ

■ 売上高 26億15百万円

(達成率93.3%)

セグメント利益 75百万円

(達成率62.5%)

■ MAVY's (独自指標) -8.3%

#### 新規事業領域

#### 耐熱素材開発

バイオマス素材を原材料としたプロト タイプ製品を開発

#### 導電素材開発

市販品と比較して更に高性能な 生体電極のプロトタイプ製品を開発



#### 今期重点施策

- 多様なアプローチによるシェア拡大
- 高付加価値製品の導入
- アフターマーケット活動の進化

#### 今期重点施策

- 既存商流の強化
- 直販体制の強化
- ろ材の拡販



#### 今期重点施策

- 有望市場に対する導入プロモーション
- タイアップ顧客とプロトタイプ製品開発
- 安定供給に向けた設備改良

### 建機用フィルタ市場を取り巻く外部環境



- ◆ 北米では新車需要は堅調維持するも、その他の地域は減少傾向
- ◆ 鉱山機械など好調なセグメントを中心に、今後の部品需要は安定推移の見込み

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期見通し
日本	原材料価格は高止まり 建機の需要は堅調に推移	原材料価格は高止まり レンタル向け減少により前年比減	原材料価格は高止まり 新車需要は前年並みか微減を想定
北米	主要原材料価格は高止まり 円安は継続 建機稼働時間と新車需要は堅調に推移	主要原材料価格は高止まり、円安継続 住宅着工件数減少により前年比減 アフターマーケットは好調	関税・為替動向は不透明 新車需要は前年比上回る想定 アフターマーケットは堅調維持
欧州	金利の高止まりやエネルギー価格の 高騰により需要は軟調に推移	主要国の需要減により前年比減少	新車需要は前年並みか微減を想定
アジア	景気減速が予想され、経済の先行き 不透明感や選挙等による公共事業 予算執行の遅れにより需要は低迷	インドネシア中心に建機、鉱山機械の 需要回復により前年比増 アフターマーケットは好調	新車需要は前年並みを想定 アフターマーケットは堅調維持
中国	不動産市況の低迷等に起因した経済活動 の停滞により需要は大幅に減少	需要低迷が継続	需要低迷が継続

#### 建機用フィルタ市場の需要動向



- ◆ 生産計画台数は2025年以降に回復基調へ
- ◆ 新車買い控えの影響から、メンテナンス需要は堅調な需要環境を維持。
- ◆ 価格調整の効果もあり、受注残高は緩やかな上昇傾向で推移する見通し

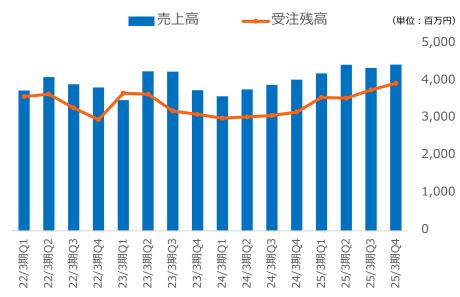
## 主要建機メーカー合計生産実績・計画(四半期推移)

#### 新車需要は下げ止まり、回復基調へ



#### 建機用フィルタ売上高と確定受注残高 (四半期推移)

## 補給部品の需要は安定して推移 受注は緩やかに増加傾向



## 建機用フィルタ:シェア拡大戦略の進捗



- ◆ 油圧用フィルタなど得意な製品群を中心にモデルチェンジを確実に獲得
- ◆ 主力製品&新規製品のシェア獲得戦略は順調に進捗

製品顧客	※油圧用フィルタ	トランスミッション用 フィルタ	燃料用フィルタ	キャビン用 フィルタ	エンジンオイル用 フィルタ	エンジン用 エアフィルタ
	1279-1 1279-1 1279-1 1279-1 1279-1		BNR2:45		1527-12487344	
A社	0	$\triangle$	0	0	$\triangle$	$\triangle$
B社	$\triangle$	0	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$
C社	0	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$
D社	0	-	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$
E社	0	Δ	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$	$\triangle$

<sup>◎:</sup>シェア80.0%以上、○:シェア50.0%以上80%未満、△:シェア50%未満

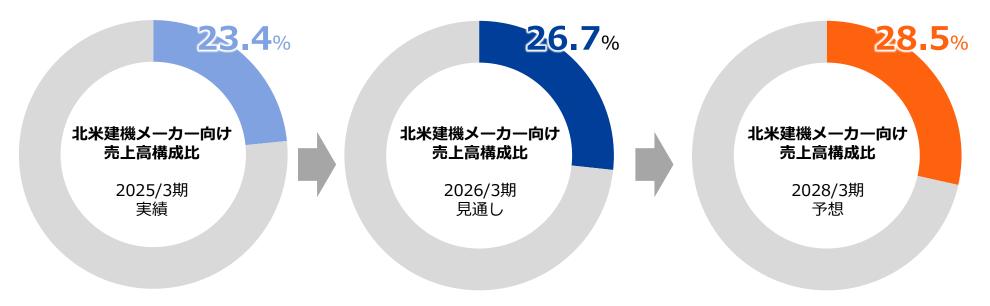
<sup>※</sup>油圧用フィルタは、油圧ショベル、ホイールローダー、ブルドーザー、ダンプトラック、モーターグレーダー、クローラクレーン等の機種に搭載

<sup>※2024</sup>年11月に発表した中期経営計画から、集計対象機種を見直したため、表内のシェア表示が変更になっております。

### 建機用フィルタ:シェア拡大戦略の進捗



- ◆ フィルタろ材の競争力に加えて、機械レイアウトにも配慮した製品を提案
- ◆ 主力の油圧用フィルタで競合他社からシェア奪還に成功
- ◆ 中期経営計画目標の売上構成比23.5%を上回る見通し
  - 北米建機メーカー その他



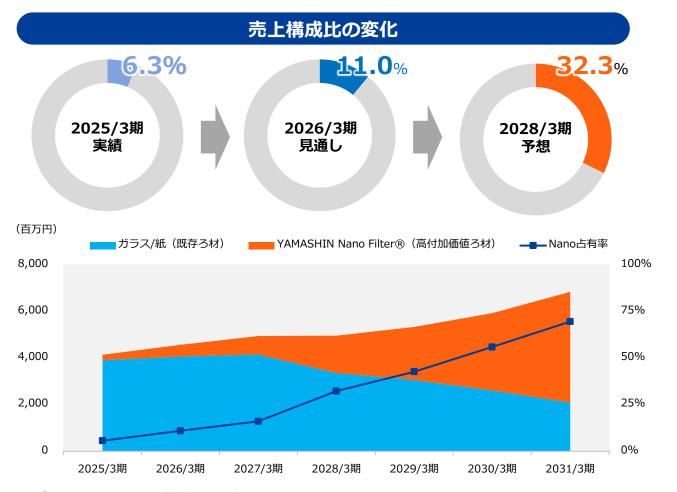
実施 施策 多様な顧客接点×技術シーズによる 高付加価値製品の提案

新規製品の採用獲得

### 建機用フィルタ:高付加価値製品の導入進捗



- ◆ ナノファイバー製品への置き換えは着実に進展
- ◆ 顧客ごとに細かいニーズは異なるが、ロングライフ化のトレンドは一致
- ◆ 中期経営計画目標の売上構成比30%を上回る見通し





が支持される理由





## 建機用フィルタ:アフターマーケット活動の進捗



- ◆ 建機の市場台数伸長により、当社の補給品市場は大きく拡大の見込み
- ◆ 適切なタイミングで保全教育や注意喚起を行うことで、リピーターを確保する

#### 10年累計市場台数の推移と 補給品売上 「10年累計市場台数」と、 (千台) (百万円) 3,000 12,000 「当社の補給品売上し は相関関係 2.900 9.000 2,800 6,000 2,700 3,000 2.600 2020 2021 2022 2023 2024 ■10年累計 販売台数 当汁補給売上高

アフターマーケット活動における 方針と施策の進捗 顧客である各建機メーカー現地法人と 方針 のアライアンスによる 長期リピート確保の活動を推進 アジア地域 重点 地域 (インド・インドネシアほか、6か国) 動員数 イベント開催 2024/3月期 2024/3月期 今期実績 220人 10回 と進捗 2025/3月期 2025/3月期 **834**人 **16**<sub>□</sub>

\*出展:オフハイウェイ社データより当社推計

## エアフィルタ事業:事業環境



- ◆ ビル建物は交換頻度の変化から、スポット案件の獲得競争が激化
- ◆ 一般工場は保守を中心に安定推移するも、点検計画の見直しには注視

	市場概要	市場環境			
	11场似安	前期		今期見通し	
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・ 屋内空調等のエアフィルタ		市場は横這いも中性能の スポット案件移行が顕著 になり、競争は激化。		フィルタのスポット案件 増加傾向が顕著になり 獲得競争は激化予想。
一般工場	工場に設置されている外気取入 れユニット・屋内空調等のエア フィルタ		定期保守は安定的に推移。 大規模修繕に予算が回り 工事案件は増加傾向。	<b>→</b>	定期保守は維持されているが、周期の再検討など 保守計画見直しの動き。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場		引き続き停滞傾向。来 期以降に国内新工場の 稼働の影響で回復。	-	前年並みの推移は見ら れる。上振れするかは まだ見通しは不透明。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・ 空気清浄機のエアフィルタ		減少傾向が鮮明化。住 宅メーカーは資材調達 価格の抑え込みを図っ ている。	-	減少傾向。住宅メー カーによるコスト抑え 込み要求は激化。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ		交換需要は堅調を維持。 新規市場(リニア)の動 きは停滞から少し動き出 す兆候が見えだす。		交換需要は堅調を維持。 リニア部品は動き出して いるが大きな量産にはま だ辿り着いていない。

## エアフィルタ事業: BtoB直販体制の強化



- ◆ BtoB分野では性能や品質が重視されるため、当社の強みとマッチング
- ◆ 価格競争力も必須のため、商流の短縮化・簡素化で顧客要求に対応する

#### BtoB直販領域における実績と計画



- BtoB分野の客先開拓が軌道に乗り安定的に伸長
- 代理店を介さないため技術営業(性能や品質に 関する訴求)を実施することで、受注確率が高 められる

#### 導入実績の状況

一般空調だけでなく環境貢献の分野へ Nanoシリーズも更なる高精度化することで ミストコレクタ分野に進出

#### ミストコレクタ (大手機械メーカー)



国内最大クラスの工作機械メーカーにOEM品として採用されているNanoシリーズの準HEPAクラス。既に量産機種にも搭載されており、展示会でも好評。

#### ミストコレクタ (中規模専門メーカー)



競合他社との性能比較で高評価を得て標準装備品での採用を勝ち取った。一部シリーズには既に導入されており、他機種での横展開採用も検討中。

## 新規事業(断熱・耐熱素材)



- ◆ 耐熱素材の開発では、バイオマスPETを原材料とした素材開発が進展
- ◆ 最終製品のニーズに応える機能性を付与した製品開発に移行

#### 耐熱素材開発の主な成果

従来製品よりも価格競争力があり、 環境面に配慮したバイオ-PETの 中綿素材を開発

原料イメージ



バイオマスPETの 3つのメリット

- **1** CO₂排出量 21%削減
- 2 資源の 多様化
- 3 リサイクル 可能



#### 想定される使用用途



- ・スポーツウェア
- ・アウトドアウェア
- ・寝袋、テント
- ・ペット用品など
- 環境意識の高まりによりサステナブル素材として注目
- 極細繊維が空気を包み込み、断熱性・保温性が高い
- 従来綿より薄くてストレッチ性がありスポーツに最適
- 蒸れにくく快適な着心地を実現

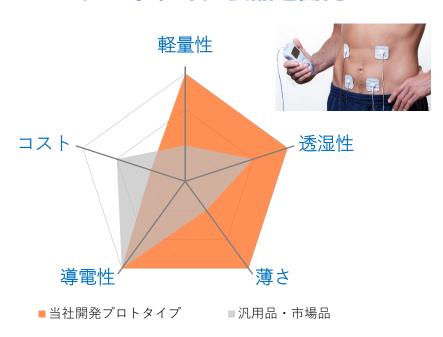
## 新規事業(導電性素材)



- ◆ 高性能な生体電極のプロトタイプを開発
- ◆ 実用化のポイントは、違和感なく自然に身につけられる快適性
- ◆ ナノファイバー不織布ならではの柔軟性&伸縮性&透湿性で差別化

#### 導電素材開発の主な成果

ナノファイバーの特性を活かし 薄型軽量・透湿性の高い プロトタイプ製品を開発



### 想定される市場規模\* 全世界・スマートテキスタイル

0.88兆円 2024年



**2.4**兆円 2028年

※出典: THE BUSINESS RESEARCH COMPANY

#### 想定される使用用途



- ・スポーツ・フィットネス
- ・ウェルネス/美容
- ・ヘルスケア/医療
- ・介護・リハビリ

#### 動画分析出来ない筋肉の可視化

筋電パターンの変化から筋肉のバランス変化を検出

**アスリート分野** 筋力量、心拍、 疲労検出



**介護 リハビリ分野**筋力量を
モニタリング





# 参考資料

## 目指すべき定量目標(建機用フィルタ)



1 3軸によるシェア拡大 (顧客軸・技術軸・地域軸)

2

高付加価値製品

3 アフターマーケット市場の進化

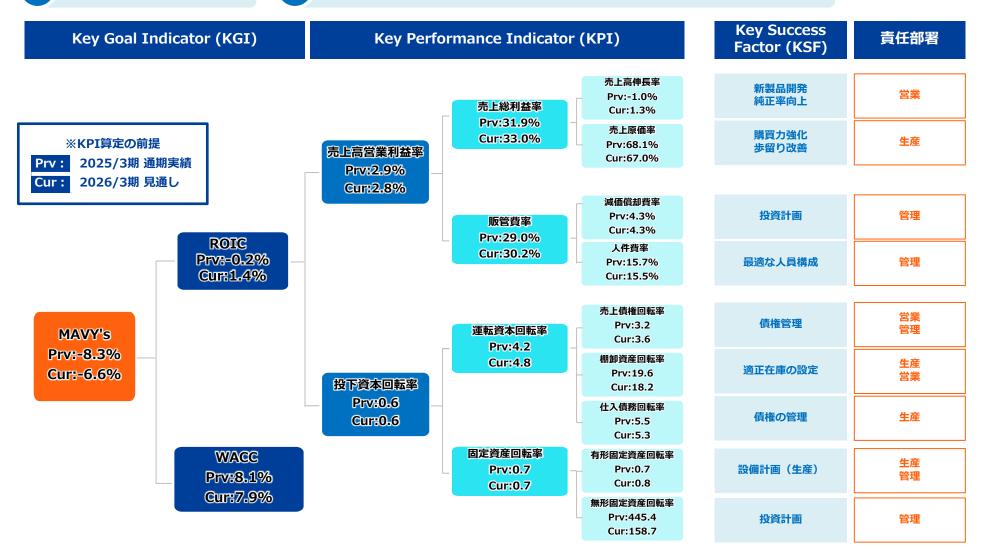
**Key Success Key Goal Indicator (KGI)** 責任部署 **Key Performance Indicator (KPI)** Factor (KSF) 売上高伸長率 新製品開発 Prv:13.7% 営業・開発 純正率向上 売上総利益率 Cur:1.6% ※KPI算定の前提 Prv:46.3 % 売上原価率 購買力強化 Cur:46.9% 2025/3期 通期実績 Prv: Prv:53.7% 生産 歩留り改善 売上高営業利益率 Cur:53.1% 2026/3期 見通し Cur: Prv: 14.6% 減価償却費率 経営企画 14.9% Cur Prv:3.6% 投資計画 財務・管理 Cur:3.1% 販管費率 研究開発費率 テーマの絞り込み 開発 Prv:2.4% Prv:31.7 % ROIC 優先順位 Cur:2.8% Cur:32.0% Prv:10.2% 人件費率 Cur:9.6% 最適な人員構成 人事・総務 Prv:15.5% Cur:15.6% 売上債権回転率 営業 債権管理 MAVY's Prv:4.4 財務・経理 運転資本回転率 Cur:4.3 Prv:2.0% Prv:3.0 棚卸資産回転率 Cur: 2.9 生産 Cur: 1.7% 適正在庫の設定 Prv:5.4 営業 投下資本回転 Cur:5.6 Prv: 0.9 仕入債務回転率 生産 Cur: 0.9 債務管理 Prv:7.2 Cur:8.0 WACC 固定資産回転率 有形固定資産回転 設備計画 経営企画 Prv: 8.1% Prv:2.0 Prv:2.3 (R&D・生産) 総務・生産・開発 Cur: 2.3 Cur: 2.1 7.9% Curr 無形固定資産回転率 経営企画 Prv:81.9 投資計画 財務・経理 Cur:78.7

## 目指すべき定量目標(エアフィルタ)



1 新商流の開拓(BtoB)

2 高付加価値製品(PFAS・PFOSフリー、CO2、消費電力削減)



## 2026年3月期見通し(2025/4-2026/3) セグメント別 KPI進捗(MAVY's、ROIC、ROE、WACC)



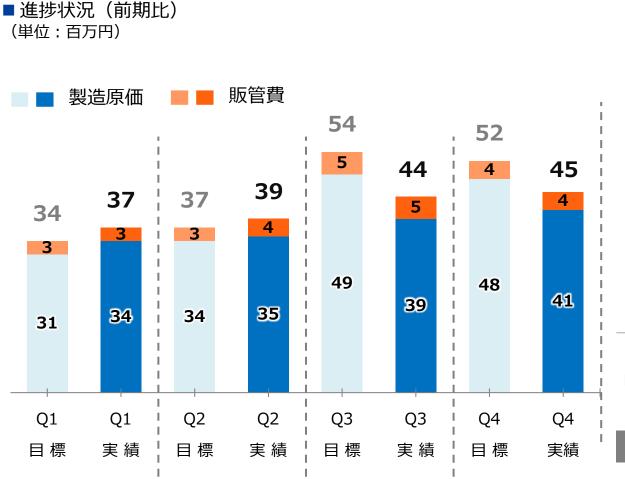
- ◆ 企業価値を示すMAVY'sの改善は中期経営計画通り着実に進展、
- ◆ エアフィルタビジネスの収益改善が経営課題

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 見通し	
MAVY's		-2.6%	0.1%	0.2%	
ROIC		4.9%	8.2%	8.1%	
ROE		3.7%	7.8%	8.5%	
WACC		7.5%	8.1%	7.9%	
建機用フィルタ	MAVY's	-1.7%	2.0%	1.7%	
	ROIC	5.8%	10.2%	9.6%	
	WACC	7.5%	8.1%	7.9%	
エアフィルタ	MAVY's	-6.0%	-8.3%	-6.6%	
	ROIC	1.5%	-0.2%	1.4%	
	WACC	7.5%	8.1%	7.9%	

# PAC24 (2024/4-2025/3)



◆ 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る



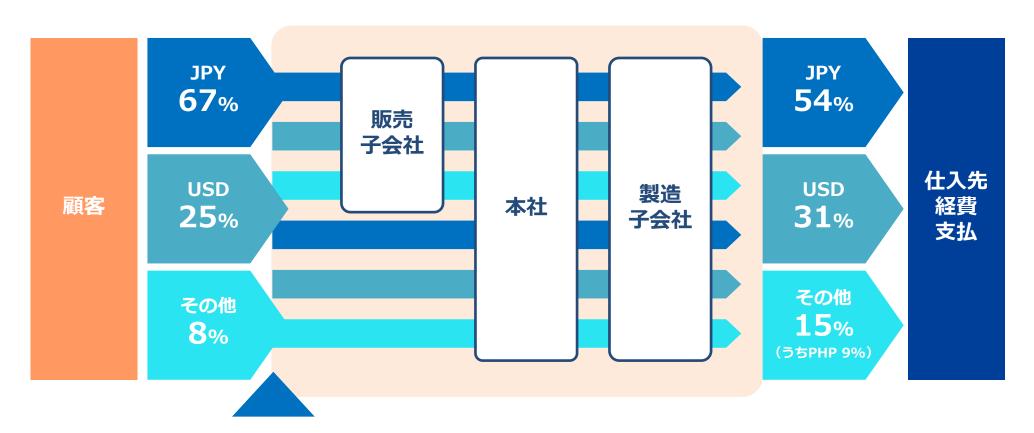


<u>È</u>	単位 百万円		通 期 実 績	
PAC25	製造原価	164	150	
FAC23	販管費	16	18	
合	計	180	168	

# 為替マリーの状況(2024/4-2025/3)



◆ 為替感応度は▲0.04%、営業利益への影響額は軽微

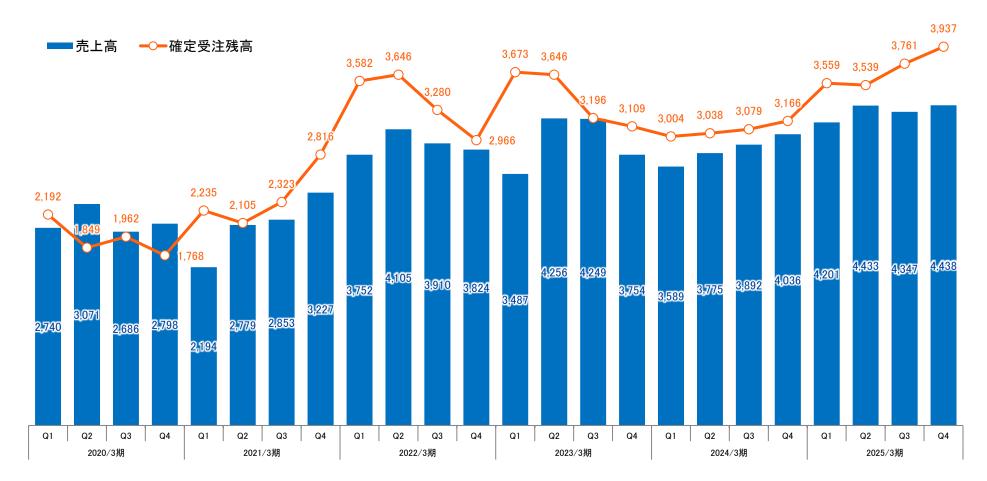


取引通貨の約7割はJPY

# 確定受注残高と売上高の推移 (建機用フィルタビジネス)



(単位:百万円)



※ 売上高にはヘルスケア売上を含めておりません。

## 資本政策進捗(総資産、自己資本比率、財務レバレッジ、WACC)



	2023/3期	2024/3期	2025/3期	<b>2026/3期</b> 見通し	2026/3期 中計
総資産 (百万円)	25,581	25,943	26,642	27,240	27,895
現預金	4,113	5,065	6,014	6,513	6,835
有利子負債	1,406	947	319	1,591	1,803
純資産	20,977	21,299	22,619	22,144	22,091
自己資本比率	82.0%	82.1%	84.9%	81.3%	79.2%
財務レバレッジ	1.22	1.22	1.18	1.23	1.26
WACC	7.5%	7.5%	8.1%	7.9%	7.9%

## 株主還元(配当金、DOE、配当性向、総還元性向)



	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 見通し	2026/3期 中計
1株当り 年間配当金	6.0円	6.0円	12.0円	16.0円	16.0円
配当金額 (百万円)	429	428	852	1,115	1,110
自己株式取得 (百万円)	_	466	_	1,278	1,000
連結配当性向**1	66.5%	54.5%	49.3%	58.4%	58.1%
配当利回り※2	1.8%	1.3%	2.1%	1.7%	1.5%
DOE <sup>**3</sup>	2.1%	2.0%	3.9%	5.0%	5.0%
総還元性向※4	75.6%	121.0%	52.9%	128.4%	113.5%

<sup>※1</sup> 連結配当性向=(配当金総額÷親会社株主に帰属する当期純利益)×100

※4 総還元性向={(配当金総額+株主優待+自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益}×100

<sup>※2</sup> 配当利回り = (1株あたり配当金÷期末日現在の株価)×100

<sup>※3</sup> DOE(株主資本配当率)=(年間配当総額÷株主資本)×100



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております 実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL

045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp